

サンプル問題

商業情報課題

この問題は 2025 年度一般推薦入学試験および高卒認定、海外帰国生徒、高等学校
卒業者、定時制・通信制高等学校入学試験において実施される商業情報課題（経
済学部）のサンプル問題です。

※実際に出題される問題とは異なります。

日本福祉大学

I ビジネス基礎分野（必答）

次の文章を読んで、以下の問いに答えよ。

かつての日本は ⁽¹⁾ 農業・林業・水産業 を中心とした経済活動を行っていました。それが、
⁽²⁾ 製造業 が中心の経済活動へと変わり、その製品を輸出することで豊かになりました。現在では、卸売・小売り業や医療・介護などの ⁽³⁾ サービス業 が経済活動の大きな役割を果たすようになりました。このように、産業構造が変化することを産業構造の高度化と言います。

産業構造が高度化するにつれて、私たちの平均所得は向上し、また医療体制が充実し、もともと国際的に高かった ⁽⁴⁾ 日本の平均年齢 は上昇を続けました。町の中では、従来は徒歩や自転車、そしてバスなどで移動し通勤や通学、買い物をしていた人々が自家用車を持つようになり、行動範囲が広まりました。

その結果、駅前にあった商店街やその中心にあった百貨店は衰退し、郊外に自動車で通いやすい ⁽⁵⁾ ショッピングセンター ができ、街の中心部が寂れるようになりました。現在では、このように人があまり来なくなった ⁽⁶⁾ 街中を復活させよう という取り組みも様々な形でなされています。

問1 下線部（1）～（3）にあてはまる最も適切な用語を、次の解答群から一つ選び、**カタカナ記号**で答えよ。

—解答群—

ア．第一次産業 イ．第二次産業 ウ．第三次産業 エ．第四次産業 オ．第六次産業

問2 下線部（4）について、平均年齢が上がり、子供の出生数が減ることを何というか、最も適切な語句を、次の解答群から一つ選び、**カタカナ記号**で答えよ。

—解答群—

ア．若年齢化 イ．老齢化 ウ．少子高齢化 エ．多子多産 オ．富国強兵

問3 下線部（5）について、郊外型ショッピングセンターの中核をなすことが多い業態は何というか、次の解答群から一つ選び、**カタカナ記号**で答えよ。

—解答群—

ア．個人商店 イ．百貨店 ウ．総合スーパー エ．総合電機店

問4 下線部（6）について、中心市街地活性化のための取り組みとして、**誤っているもの**を、次の解答群から一つ選び、**カタカナ記号**で答えよ。

—解答群—

ア．若い人が街中に気軽に集まれるように、漫画図書館を作った。

- イ．高齢者が買い物をしやすいように、バリアフリー化を進めた。
- ウ．ファミリー層が買い物をしやすいように、駐車場を拡張した。
- エ．新しい事をせず、従来のままの商店街を維持した。

Ⅱ マーケティング分野（選択）

次の文章を読んで、以下の問いに答えよ。

20世紀に入り、世界は大量生産・大量消費が一般化していきました。その中で特徴的だったのが、アメリカの自動車メーカーであるA社とB社です。A社は、一つの車種を徹底して大量に生産し、生産コストを低減していく方式で、莫大な量の自動車を生産、販売しました。一方B社は、社名にもなっているように、あらゆる種類の自動車を生産、販売しました。

問1 A社にあてはまる自動車メーカーは何か、次の解答群から一つ選び、**カタカナ記号で**答えよ。

—解答群—

ア．フォード自動車 イ．ゼネラル・モーターズ ウ．トヨタ自動車 エ．テスラ自動車

問2 B社にあてはまる自動車メーカーは何か、次の解答群から一つ選び、**カタカナ記号で**答えよ。

—解答群—

ア．フォード自動車 イ．ゼネラル・モーターズ ウ．トヨタ自動車 エ．テスラ自動車

次の文章を読んで、以下の問いに答えよ。

モノを作ればそれが売れるといういわば信仰に近い考え方で多くの企業はモノ(サービス)を作り売って(提供して)いましたが、大量生産・大量消費が落ち着くと、モノを考えながら作り売らないと十分な売上と利益が見込めなくなりました。その時にそれぞれの会社がとった戦略は、結果的に次の4つの戦略に整理できます。

- (1) 経営資源に余裕のあるいわゆる大企業が多く採用した戦略
- (2) 独自の技術やサービスを特徴とし、他社から簡単には真似されない戦略
- (3) 自社の製品・サービスを購入するであろう顧客を想定し(1)もしくは(2)の戦略を行う戦略
- (4) 消費者が多種多様な製品・サービスに触れ、それらから不要なサービス・機能をそぎ落とした製品・サービスを提供する戦略

問3 (1)～(4)の戦略にあてはまるものを、次の解答群から一つ選び、**カタカナ記号で**答えよ。

—解答群—

ア．レッドオーシャン戦略 イ．ブルーオーシャン戦略 ウ．集中戦略 エ．差別化の戦略
オ．コスト・リーダーシップ戦略

次の文章を読んで、以下の問いに答えよ。

マーケティングにおける4P政策とは、⁽¹⁾「何（製品・サービス）を売るのか」、⁽²⁾「いくら（価格）で売るのか」、⁽³⁾「どのように製品・サービスを、消費者に提供するのか」、⁽⁴⁾「どのように製品・サービスを消費者に知ってもらうのか」の英語の頭文字4つのPから、4Pと呼ばれている。

問4 下線部（1）～（4）について、それぞれどの英語の日本語表記があてはまるか、次の解答群から一つ選び、**カタカナ記号で**答えよ。

—解答群—

ア．ポートフォリオ イ．プレイス ウ．プライス エ．プロモーション オ．プロダクト

Ⅲ 会計分野（選択）

以下の問いに答えよ。

問1 財務諸表分析に関する以下の説明で正しいものには○、誤っているものには×を記入しなさい。

1. 財務諸表上のある項目の金額と、他の項目の金額との割合によって分析する方法を構成比率法という。
2. 基準とする年度の財務諸表上の各項目の金額を 100 とし、それと比較する年度の各項目の金額を百分率で表して、その変化を分析する方法を関係比率法という。
3. 構成比率法や関係比率法などは、比率法的一种である。
4. 財務諸表分析には、それを行う立場によって外部分析と内部分析とがある。外部分析については、さらに信用分析と投資分析に分類される。
5. 企業経営の拡大・発展の度合いを分析することを成長性分析といい、この成長性分析は、趨勢法による財務諸表の分析の一種である。

問2 下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適当なものを使用すること。

現	金	当	座	預	金	仮払法人税等	未払法人税等
未払配当金	利益準備金	別途積立金	繰越利益剰余金				
創立費	開業費	法人税等	損益				

1. 東海商事株式会社は、会社の設立に要した諸費用 ¥500,000 を、発起人に小切手を振り出して支払った。
2. 美浜商事株式会社は、法人税・住民税及び事業税の確定申告を行い、決算で計上した法人税等 ¥600,000 について小切手を振り出して納付した。
3. 半田商事株式会社（発行済株式数 20,000 株）は、第 55 期の株主総会において、繰越利益剰余金 ¥10,000,000 について、次のとおり剰余金の配当及び処分が決議された。

配当金 1 株につき ¥400 利益準備金 ¥800,000 別途積立金 ¥1,000,000

問3 名古屋商店（個人企業 決算年1回 12月31日）の総勘定元帳残高と記事項及び決算整理事項については、以下のとおりであった。次の問いに答えよ。

【資料】

元帳勘定残高

現金	¥ 619,000	当座預金	¥ 2,378,000	受取手形	¥ 1,550,000
売掛金	4,050,000	貸倒引当金	39,000	有価証券	1,620,000
繰越商品	760,000	備品	2,250,000	備品減価償却累計額	1,125,000
土地	2,300,000	支払手形	948,000	買掛金	2,548,600
借入金	1,600,000	資本金	8,537,000	売上	18,973,000
受取地代	156,000	有価証券売却益	7,000	仕入	15,012,900
給料	1,780,000	支払家賃	420,000	保険料	116,000
通信費	52,000	雑費	49,700	支払利息	96,000

付記事項

かねて受け取っていた得意先である岡崎商店振り出しの約束手形¥380,000が、期日に当座預金口座に入金されたとの連絡を取引銀行から受け取っていたが、記帳していなかった。

決算整理事項

- a. 期末商品棚卸高 ¥824,000
- b. 貸倒見積高 受取手形と売掛金の期末残高に対し、それぞれ2%と見積り、貸倒引当金を設定する。
- c. 備品減価償却高 定額法による。ただし、残存価額はゼロ、耐用年数は6年とする。
- d. 有価証券評価高 有価証券は、売買目的で保有している次の株式であり、時価によって評価する。
岐阜産業株式会社 400株 時価1株 ¥4,350
- e. 保険料前払高 保険料のうち¥84,000は、本年5月1日からの1年分を支払ったものであり、前払高を次期に繰り延べる。
- f. 地代前受高 ¥12,000
- g. 利息未払高 ¥18,000

(1) 損益計算書を完成させたうえで、①～⑩について適切な金額あるいは語句を解答欄に記入しなさい。

損 益 計 算 書

名古屋商店 令和○年1月1日から令和○年12月31日まで (単位：円)

費 用	金 額	収 益	金 額
売 上 原 価	(①)	売 上 高	
給 料		受 取 地 代	(②)
貸倒引当金 (③)	(④)	有価証券売却益	
減 価 償 却 費	(⑤)	有価証券評価益	(⑥)
支 払 家 賃		/	
保 険 料	(⑦)		
通 信 費			
雑 費			
支 払 利 息	(⑧)		
当期純 (⑨)	(⑩)		

- ① ¥
- ② ¥
- ③
- ④ ¥
- ⑤ ¥
- ⑥ ¥
- ⑦ ¥
- ⑧ ¥
- ⑨
- ⑩ ¥

(2) 前払保険料の金額を求めなさい。

Ⅳ ビジネス情報分野（選択）

以下の問いに答えよ。

問1 ヒューマンインターフェース設計におけるコンポーネント（画面を構成する部品や構成要素のこと）に関する以下の説明に該当する語句を記述しなさい。

1. 数値や文字を直接入力できるコンポーネント。
2. 指定された範囲のなかにある複数の選択肢から、一つだけ選択できるコンポーネント。
3. 複数の選択肢から、複数選択できるコンポーネント。
4. 一覧表示されている行を選択できるコンポーネント。
5. ☒をクリックすることで一覧が表示され、一つだけ選択できるコンポーネント。

問2 基数変換に関する次の計算を行いなさい。

1. 2進数の1101と10進数の7の和を表す2進数。
2. 2進数の1111と10進数の5の差を表す10進数。
3. 2進数の1011と10進数の3の積を表す2進数。
4. 2進数の1101と1011の和を表す10進数。

問3 次の表は、ある商社の営業部の営業部員別年間売上高一覧表である。「備考」には、「売上高」（単位：千円）が平均以下の場合には要研修と表示し、それ以外の場合は何も表示しない。D3に設定する式として最も適切なものを、次の解答群から一つ選び、**カタカナ記号で**答えよ。ただし、この式をD3～D7までコピーするものとする。

	A	B	C	D
1	営業部員別年間売上高一覧表			
2	社員番号	所属課名	売上高	備考
3	1	営業一課	64,230	
4	2	営業一課	66,795	
5	3	営業一課	54,750	要研修
6	4	営業二課	68,880	
7	5	営業二課	50,925	要研修

—解答群—

- ア. =IF(C3>=AVERAGE(\$C\$3:\$C\$7),"","要研修")
イ. =IF(C3>=AVERAGE(\$C\$3:\$C\$7),"要研修","")
ウ. =IF(C3<=AVERAGE(\$C\$3:\$C\$7),"","要研修")
エ. =IF(C3<=AVERAGE(\$C\$3:\$C\$7),"要研修","")